

問1 私たちの経済生活において、貨幣は物々交換の不便さを解消し、スムーズな取引を支える重要な役割を担っています。リンゴやペンといった商品を購入する際に、貨幣がその代金として支払われることで、財（モノ）やサービスと引き換えられる働きを何と呼びますか。（2021年 佐賀公立入試 類似）

1. 価値の尺度 2. 交換手段 3. 価値の保存 4. 支払手段

問2 景気が過熱し、インフレーションの恐れがある場合に政府が行う財政政策として、経済を安定させるための適切な組み合わせはどれですか。（2026年 新潟公立入試 類似）

1. 公共事業を減らしたり、増税を行ったりして、社会全体の需要を抑制する 2. 公共事業を増やしたり、減税を行ったりして、社会全体の需要を刺激する 3. 公共事業を増やし、同時に増税を行うことで、財政赤字の解消を優先する 4. 公共事業を減らし、同時に減税を行うことで、企業の投資意欲を高める

問3 外国為替相場において、1ドル=138円から1ドル=148円へと円の他国通貨に対する価値が変動した際、日本の経済に与える影響として最も適切な説明を選択してください。（2025年 沖縄公立入試 類似）

1. 海外から輸入される原材料や製品の円建て価格が上昇し、国内の物価を押し上げる要因となる。 2. 日本から海外へ輸出する製品の現地での価格が上昇するため、輸出産業にとって不利に働く。 3. 日本国内の消費者が海外旅行に行く際の航空券代や滞在費が安くなり、海外旅行が容易になる。 4. 1ドルを交換するために必要な円が少なくて済むようになるため、輸入企業の支払負担が軽減される

問4 日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれている理由を、その仕組みから説明したものと正しいものはどれですか。（2020年 山形公立入試 類似）

1. 民間の金融機関のみを取引相手として、資金の預かりや貸し出しを行うため。 2. 全国の銀行の経営方針を決定し、銀行員の人事権を掌握しているため。 3. 政府の指示に基づいて、すべての銀行の支店設置場所を決定するため。 4. 世界中の主要な銀行に資金を提供し、国際的な通貨価値を統一するため。

問5 景気が過熱して物価が急激に上昇するのを抑えるため、日本銀行は市場の通貨量を調整する「公開市場操作」を行います。この際、日本銀行が民間銀行に対して国債を売り、世の中に出回る通貨の量を減らす操作を何といいますか。（2026年 新潟公立入試 類似）

1. 売りオペレーション 2. 買いオペレーション 3. 支払準備率操作 4. 政策金利の引き下げ

問6 日本銀行、一般の金融機関、企業、公開市場という4つの主体の関係において、日本銀行が国債を買い入れる「買いオペレーション」が実施された場合、その後の資金の流れとして最も適切なものはどれですか。（2024年 京都公立入試 類似）

1. 日本銀行から一般の金融機関へ代金が支払われ、金融機関から企業への貸し出しが増える。 2. 企業から一般の金融機関へ国債が売却され、金融機関から日本銀行へ代金が支払われる。 3. 一般の金融機関から日本銀行へ国債が売却され、日本銀行が企業から直接資金を回収する。 4. 政府から日本銀行へ国債が発行され、日本銀行が企業へ直接公共事業の代金を支払う。

問7 銀行などの金融機関が、家計などから預かったお金の対価として預金者に支払うもの、あるいは企業などに資金を貸し出した際の手数料として受け取るものの名称として、最も適切なものはどれですか。（2024年 静岡公立入試 類似）

1. 利子 2. 配当金 3. 元金 4. 売上金

問8 日本の中央銀行である日本銀行は、民間の金融機関には認められていない特別な役割を3つ持っています。そのうち、日本の紙幣である日本銀行券を独占的に発行できる唯一の銀行としての役割を何といいますか。（2025年 岐阜公立入試 類似）

1. 発券銀行 2. 銀行の銀行 3. 政府の銀行 4. 市中銀行

問9 日本における唯一の中央銀行である日本銀行が担う、3つの大きな役割の名称として適切な組み合わせはどれですか。日本銀行は紙幣を発行し、国の資金を管理するとともに、一般の銀行に対して貸し付けや預金の受け入れを行っています。（2020年 山形公立入試 類似）

1. 発券銀行・政府の銀行・銀行の銀行 2. 発券銀行・市中銀行・政府の銀行 3. 政府の銀行・普通銀行・銀行の銀行 4. 発行銀行・市場の銀行・銀行の銀行

答え合わせ・解説

問1	答え 2 交換手段	貨幣には主に3つの機能がありますが、その中でも最も基本的なものが、モノやサービスと直接やり取りされる「交換手段」としての機能です。物々交換では「自分の欲しいものを持つ相手」かつ「相手が自分の持っているものを欲しがっている」という一致が必要ですが、貨幣が仲立ち（媒介）となることで、誰とでも自由に、効率よく取引を行うことが可能になります。
問2	答え 1 公共事業を減らしたり、増税を行ったりして、社会全体の需要を抑制する	政府は景気を調整するために、支出（公共事業）と収入（税金）を操作します。景気が良すぎる（過熱している）ときは、道路建設などの公共事業を削減して政府支出を抑えるとともに、増税によって国民や企業が自由に使えるお金を減らします。これらの措置によって、社会全体の買い物の勢い（総需要）を抑え、物価の安定を図ります。
問3	答え 1 海外から輸入される原材料や製品の円建て価格が上昇し、国内の物価を押し上げる要因となる。	外国為替相場において1ドルあたりの円の数値が大きくなることは、円の価値が下がる「円安」を意味します。円安になると、海外の製品を輸入する際により多くの円を支払わなければならないため、輸入価格が上昇します。日本はエネルギー資源や食料品の多くを輸入に頼っているため、円安は国内の物価上昇（コストプッシュ・インフレ）を招く直接的な原因となります。
問4	答え 1 民間の金融機関のみを取引相手として、資金の預かりや貸し出しを行うため。	日本銀行は、私たち一般の個人や民間企業との取引は行いません。その代わりに、三菱UFJ銀行や地方銀行といった「民間の金融機関」を相手に、資金の貸し出しや預金の受け入れを行います。このように、銀行にとっての「銀行」のような役割を果たしていることから、この名称で呼ばれます。これにより、金融市場全体の資金供給量をコントロールしています。
問5	答え 1 売りオペレーション	景気が過熱しているとき、日本銀行は世の中のお金の量を減らすことで経済を落ち着かせようとしています。日本銀行が持つ国債を民間銀行に売ると、その代金として民間銀行の資金が日本銀行に吸収されます。これにより、民間銀行が企業や個人に貸し出せるお金が減り、経済活動が抑制される仕組みです。
問6	答え 1 日本銀行から一般の金融機関へ代金が支払われ、金融機関から企業への貸し出しが増える。	買いオペレーションが実施されると、まず日本銀行と一般の金融機関の間で国債と代金の交換が行われます。日本銀行が代金を支払うことで、民間の銀行の手元に資金（通貨）が供給されます。その結果、銀行から企業への貸し出しという新たな資金の流れが生まれ、市場全体の通貨量が増加し、景気の回復が図られます。
問7	答え 1 利子	銀行は家計から預金という形でお金を集め、それを企業や個人に融資（貸し出し）することで社会の経済活動を支えています。この資金の貸し借りに際して発生する対価を利子（または利息）と呼びます。配当金は株式を保有している企業から利益の分配として受け取るものであり、元金は貸し借りしたお金そのものの額を指します。
問8	答え 1 発券銀行	日本銀行は、日本で唯一の「日本銀行券（紙幣）」を発行できる権利を持つため「発券銀行」と呼ばれます。これにより、世の中に出回る通貨の量を調整し、物価や経済の安定を図る役割を担っています。他の選択肢である「銀行の銀行」は民間銀行と取引を行う役割、「政府の銀行」は国庫金の管理などを行う役割を指します。
問9	答え 1 発券銀行・政府の銀行・銀行の銀行	日本銀行は、日本銀行券（紙幣）を独占的に発行する「発券銀行」、税金の受け入れや国債の発行など国の資金を管理する「政府の銀行」、そして一般の銀行（市中銀行）から預金を受け入れたり資金を貸し出したりする「銀行の銀行」という3つの役割を担っています。これに対し、私たちが普段利用している銀行は「普通銀行」や「市中銀行」と呼ばれ、日本銀行とは役割が明確に区別されています。